

# 安全・安心な水道水について

上下水道局では、水道水の安全を確認するために水質を検査しており、国が定める水道水質基準に適合するように、適切な浄水処理・塩素消毒を実施し、安全な水を供給しています。



## 感染症対策(インフルエンザなど)のため、手洗いなどに安心してお使いください



水質検査結果はこちらから

手洗いは、感染症予防の基本です。外出先からの帰宅時や食事前などには、石けんを十分に泡立てて、手をこすり洗った後に水道水でしっかり洗い流しましょう。

## よくある水質のお問い合わせ Q & A

### Q 水道水が白いです。

A 水道水に溶け込んでいた空気の泡が放出され、白く濁って見えることがあります。きれいで透明なコップに水を注ぎ、しばらく置いて、徐々に澄んで透明になる場合は、空気です。安心してお飲みください。

### Q 使い始めの水道水が赤く濁っています。

A 建物内の老朽化した配管の鉄さびが原因の場合が多くみられます。しばらく水を流した後、きれいになってからご使用ください。突然、赤水が出た場合や赤水が長く続く場合は、工事等の影響が考えられますので、4ページ「各種連絡先」記載の各工事事務所にお問い合わせください。

### Q ポットの内側が白いものでざらざらします。

A 水道水に含まれるカルシウムなどのミネラル分は、水が蒸発したときに固形分として残ります。ポットがざらざらするのは、水を繰り返しつぎ足すことでミネラル分が溜まって固形物となるからです。身体に害はありませんが、小まめに洗うことで予防できます。

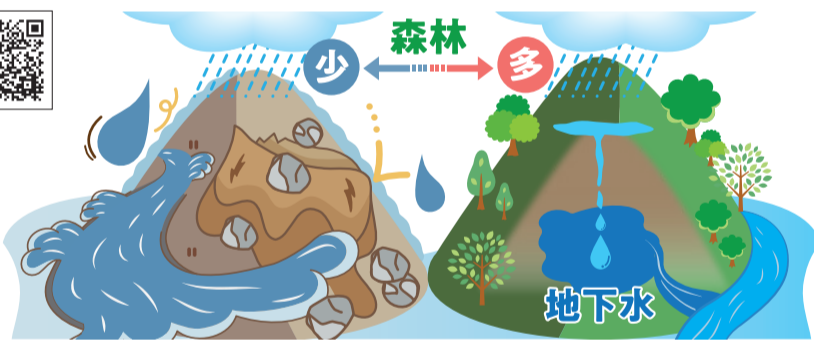
### Q 水道水に黒いつぶつぶが混じります。

A 建物内の老朽化した配管の鉄さびや蛇口等のパッキンのゴムが劣化してはがれ、水道水に混じることがあります。水道水をしばらく流し、きれいになってからご使用ください。劣化したパッキンは早目の交換をおすすめします。

## ほかにもこんな取り組みをしています!

### 水源地の森林(水源涵養林)を守ろう!

健康な森林に降った雨は土にたくわえられ地下水となり、時間をかけてゆっくりと川に流れ込みます。このような動きを持つ水源地の森林を「水源涵養林」といいます。北九州市の水源の8割は市外にあります。本市では、水源地の森林を守り育てるために、市民ボランティアの皆様等と植樹をしたり、森林に適度な日光が当たるよう下草を刈ったりする活動をしています。活動するときは、ホームページなどでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



水源涵養林の働き(イメージ)

### 海外事業の取り組み

北九州市とカンボジア政府は、2025年10月に水道分野の覚書を締結。海外水ビジネスへの日本企業の参入機会が期待されます。2026年1月には、「第18回日本-カンボジア上下水道セミナー」を国土交通省と共同で開催。「技術の継承と向上」をテーマに、約600名が参加し、活発な議論を交わしました。



覚書締結



上下水道セミナー

### 芦屋町との下水道事業の広域連携

北九州市と芦屋町は、令和7年11月18日に基本協定を締結し、令和8年4月1日から下水道事業の広域連携を開始しました。この連携では、北九州市が芦屋町の下水道事業を受託することで、芦屋町の持続可能な下水道サービスの確保と、北九州市の連携中枢都市としての連携強化を目指しています。北九州市は、平成19年度から芦屋町の水道事業を統合・一体運営しており、今回の下水道分野での連携は、これまでの協力関係をさらに発展させるものとなります。



芦屋町の主要な下水道施設

### 下水道資源の有効活用

北九州市では、下水道資源の肥料利用に取り組んでいます。

#### 「OH!DAY!®北九州」を使った園芸用培土製造・PR

下水汚泥由来の肥料「OH!DAY!®北九州」が配合された園芸用培土「OH!DAY!®SOIL」を製造し、令和7年度農林水産まつりで販売しました。今後もPR活動に積極的に取り組み、下水道資源の有効活用を推進します。



農林水産まつりでの「OH!DAY!®SOIL」販売



循環のみち下水道賞受賞

#### 循環のみち下水道賞受賞

下水道資源の肥料化の取組が評価され、「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」を令和6年度から2年連続受賞しました。

